

進学塾アベックス 平成29年 12月吉日

アベックス便り 12月号



秋も深まり、銀杏並木の落葉が黄金色の絨毯を路に敷き詰める頃、木枯らしの吹く度その模様を忙しく変えながら、道行く人も、心なしか急ぎ足で行き交う慌ただしさに、気付けばもう師走です。本当に一年の早さに改めて驚きます。一年の締めくくりの如何は、新しい年を迎える準備にとどまらず、心を整え、三省四顧でこの一年を振り返り、期する新たな一步を踏み出す新年に向け、盤石の気持ちで臨みたいものです。受験生にとっては正に全開で走る時期です。人生で幾度かの勝負所に、年末年始の時間を、世間の浮世に流される愚かな事の無きよう受験終了まで緊張感を維持し、時間軸をずらして一瞬一瞬の時間を大切にしてください。その集大成はもうすぐ先に問われます…。頑張ろう!!

お知らせと今月の行事予定

◆冬期講習&冬季強化合宿◆
今年の学習テーマを充実した
講習会と、強化合宿で締めくくろう!

- ◎冬期講習会【12/23～1/8迄の期間中】
- ※受験生は必修【別紙案内】※他は希望制
- ◎冬季強化合宿【12/27&28の2日間】
- ※受験生は必修【別紙案内】
- ※非受験生や外部一般生も参加できます!!

今月の予定

- 4日～22日 懇談会
- ※2学期の成績や学習状況を報告します【予約制】
- 23日～冬期講習開始
- 26日…年内最終授業
- 27～28日(受験生必修)
冬季強化合宿



人生とは問われるもの… ～『夜と霧』より～

秋の夜長を、久しぶりにヴィクトール・E・ فرانクル 著作の『夜と霧』を再読してみた。何度読み返しても、その時の自分の向き合う環境の変化や、齢の重ね方で、新たな気付きや深い感銘を受ける、是非一読されたい名著だと思います。極限に置かれた人間の強さや弱さ、美しさや醜さ、運命や宿命までも考えさせられ、更に人生そのものと、どう向き合うべきなのかを示唆してくれる一冊です。

著者は、戦時下のナチス統治のドイツで強制収容所に送られ、最後まで生き残ったユダヤ人精神科医ですが、その壮絶な環境下でも、如何に人としての尊厳を保ち、矜持を持ち続ける事が出来たのか…。アウシュビッツ収容所で、フランクルの体験を通じて精神科医としての冷静な人間観察や、人間そのものは一体なんであるかにまで及ぶ一言一言が余りに大きく、受け止めきれない言葉として脳裏に刻まれ、耳にこだまする…。当時の過酷な壮絶さを疑似体験すら想像に及ばない我々が、その事実の中から何を見出し、それをどう自分の中に位置づけ腑に落とすべきなのか…

運命を共にしたユダヤ人仲間の生死の分岐点を、(運命)だけで片づけてはならない何かを、人が人間としてどう生きるべきか、その義務をも、フランクルは、静かに語り掛けてくれます。

絶望の日々の中でも、なぜフランクルは人間性や希望を失わなかったのか…。内面を美しさや、ユーモアで保ち、数キロ先に別の収容所で捉われている愛する妻が、ガス室送りにはまだ至っていないだろうと想像を巡らせ愛しむ瞬間に、至上の愛と幸福感に包まれる彼が、精神の破たんに至らなかったことも、一因では有るでしょう…。彼は最後に強く(生命)や(人生)について語り続けます。

人生というのは、我々が人生の意味を問うのではなく、我々自身が問われた者として体験されるのである…。人生の意味に正しく答え、使命を果たし務めを行い責任を担うことに他ならないのである…。是非一読して自分に取り巻く霧を晴らして下さい!!お勧めします!!